

平成 30 年度防府商工高校「学校運営協議会第 2 回会議」(概要)

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 1 日 (木) 13:30~15:30
- 2 会 場 防府商工高校地域連携棟 1 階 地域連携室 1
- 3 出席者

	所属等	役職等	氏名
【委員】	山口県立大学	副学長	田 中 マキ子
	防府市教育委員会	教育部長	原 田 みゆき
	防府商工会議所	専務理事	徳 永 雄
		商業部会 会長	坂 本 恵 次
		工業部会 会長	潮 貞 男
		女性会 会長	倉 員 祥 子
	防府観光コンベンション協会	会長	羽 嶋 秀 一
	防府市地域協働支援センター	センター長	於土井 豊 昭
	防府市立桑山中学校	校長	田 中 敬
	防府商工高校	P T A 会長	岩 崎 眞 治
		校長	小 土 井 実
未来デザイン部 部長		黒 川 康 生	

	所属等	学年・学科等	氏名
【特別委員】	防府商工高校	3 年商業科	石 丸 桃 子
			松 田 彩 伽
			村 田 蓮 奈
			石 井 亜 依
			伊 藤 凧 香
			永 田 萌 華
			村 田 萌 花
		3 年情報処理科	徳 永 恵 里 菜
			豊 田 あ かり
			和 西 優 里
		3 年機械科	甲 斐 紀 成
			繁 富 僚
			長 尾 栄 祐
			山 田 直 樹

【事務局】 全日制教頭 矢上 博 定時制教頭 中司 文男

4 概要

(1) 次第

<p><b>1 開会行事</b></p> <p>(1) 校長 挨拶</p> <p><b>2 議事</b></p> <p>(1) 第 1 部</p> <p>議事① 意見交換 委員と生徒が考える地域に根差した学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究:ふるさとパワーアップ班 活動報告</li> <li>・ 長期企業研修報告</li> </ul> <p>(2) 第 2 部</p> <p>議事② 報告 平成 30 年度前期の取組及び後期の予定について</p> <p>※スライドを使った前期取組の報告</p> <p>議事③ 協議 教育ビジョン策定に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育ビジョン策定に向けての整理</li> </ul> <p><b>3 閉会行事</b></p> <p>(1) 校長 挨拶</p> <p>(2) 連絡事項</p>
--

(2) 委員の皆様からの提言・意見等（一部抜粋）

**【第1部】**

□（委員）高校生がまちに興味をもち、カメラというツールを用いてまちの魅力を発信するという「幸せますカメラ女子部」の活動は、地域からの評価が高い。活動を通じて地域の人々と関わり、コミュニケーション能力も高めている。今後は、防府商工高校だけでなく、防府高校や誠英高校及び広く県内の高校生同士でつながりをもってもよいのではないか。北海道を撮影地として行われている「写真甲子園」のような取組を、県内の高校生を対象に防府で開催するという企画も考えられる。

（特別委員）同世代の人と写真を通じて交流することは、縦のつながりに横のつながりが加わるので、とても興味深い。

□（委員）インターネットの普及による電子商取引の拡大は、従来型の小売業の物販力を低下させている。商店街だけでなく、大型店にとってもインターネットによる商取引は脅威である。地域の活性化を考える際には、現状に至った背景を十分考察することが大切である。活性化に向けた提案としてイベントの開催を取りあげていたが、企画立案する時には、「ひとが集まり、集い、交流する場」を提供するという視点をもって欲しい。

（委員）若者にとって魅力ある商店街とは？

（特別委員）商店街で扱われている商品は、年配者向けのモノが多い。大型店では、幅広い品揃えや多様なサービスが提供されている。若者をターゲットとした売り場、サービスの提供が必要ではないか。

□イベントの企画やお弁当の企画、さらには写真を通じた情報発信等、活動の全てにおいて地域の方々と何らかのコミュニケーションをとっている。こうした体験は、自分一人で生きているわけではなく、世の中とともにあるということを自然と知ることにつながっている。感性が鋭い今を大切に、防府商工ならではの活動を通じて感性を磨いて欲しい。

□長期企業研修では、学校での学びとは異なる形で貴重な体験をされている。研修の成果として、いいものも作られている。作った商品は売れてこそ価値が高まるので、「売れるものづくり」という視点は大切である。今回の体験を今後の学生生活や職業生活に役立てて欲しい。

□商業・工業どちらの活動も、単年で終わるのではなく、先輩の課題を受けて自分たちの文化として創っている。上下のつながりに横のつながりができて、縦と横の糸が上手く絡まり合って、「防府のまちを良くする」「自分たちの学びを深める」ということに上手くシンクロしていつている。やる側が一生懸命、情熱をもってしないと面白くない。今は皆さん主体的に取り組んでいるので、主体的に取り組むという気持ちは、自分を輝かせる一番のエネルギーである。地域の方にもその気持ちは必ず伝わるので、いつまでも大切にしたい。

**【第2部】**

□高校生の発表を聞いて、中学生と違い、大きな成長を感じた。地域連携教育を通じて社会の構成者としての当事者意識を育むことが大切ではないか。

□上級生が課題研究等で取り組んでいる内容について、下級生が知る機会を充実させて欲しい。

□商・工それぞれの学科での取組には、素晴らしいものがある。商工高校の特徴を生かし、学科の枠を超えて双方の取組を知る機会を設けることはできないか。学びを深め、視野を広げることにつながると考える。

- 高校生の間に、地域課題について認識し、課題の解決について考える機会を引き続き設けて欲しい。また、上級生が取り組んだ内容を、下級生を含め学校全体で共有することで学習成果もさらに高まると考える。
- 高度情報化社会が一層進む中、社会人に求められる情報を扱う技能も大きく変化している。今後はビックデータの活用といった新しいA I 技術に関わる活用能力が求められる。会計処理についても、会計ソフトの進化によって単純にデータを入力するという作業はなくなる。I Tの世界は変化が激しいが、基礎基本を大切にしながらも、将来を見通した学習が必要になる。
- 将来の予測が困難で変化の激しい社会の中を生きるこれからの子ども達には、これまで以上に確かな学力の育成が大切になる。
- 人口減少が進む中、若者の定着は重要な課題であり、地元の良さや魅力を知る学習活動を充実させて欲しい。
- 自己表現力や提案説明能力の育成は一層重要となる。高校生活の中でプレゼンをする機会を系統的・計画的に行っていく必要があるのではないか。
- 小学校で新たに導入されるプログラミング教育に対して、現場では実施に向けて不安の声が聞かれる。夏休みを利用して講座を開くなど、高校生が貢献できる部分があるのではないか。地域の教育力を高めるためにも、教育機関・企業・NPO等をつなげる仕組みづくりが求められる。
- 社会が大きく変化し技術が進歩しても、総合的な人間力を高めることの重要性は変わらない。感性等を磨く方法としては、多様な方々と関わりコミュニケーションを図っていくことが考えられる。防府商工は、表現力や思考力の育成、感性を磨くなどといった点で特徴ある活動ができるのではないか。
- 技術やサービスが進化して便利な世の中になっても、使うのは心をもった人間である。学校において、子ども達に豊かな心や感性を育てていくことは大切である。
- 持続性のある地域連携教育を行うためには、学校・地域双方で後進の育成が重要である。
- 円滑なバトンタッチをするためにも、先生方の教育方法・教育ツールの可視化が必要ではないか。防府商工のプライオリティを今後も維持し、さらに発展させていくためにも、方法や仕組みを見える形に残すことが大切である。



課題研究 (ふるさとパワーアップ班)  
(3年商業科・情報処理科)



長期企業研修  
(3年機械科)

### (3) 出席した生徒の感想

商業科（女子）

委員の皆さんからいろいろな意見を聞くことができ、とても勉強になりました。改めて防府商工に入学して良かったと思える会議でした。

商業科（女子）

委員の皆さんの前で話すのはとても緊張しました。残りの高校生活をどのように過ごすか、また卒業後社会に出てどのように生きるかについて考える良い機会になりました。

商業科（女子）

会議に出席されている方々が、地域の課題や防府商工の今後のことについて真剣に考えられていることに感動しました。就職してからもこれまでのように地域貢献・社会貢献に関心を持ち、携わりたいと思いました。

情報処理科（男子）

最初は緊張して場の雰囲気に飲み込まれてしまい、思うような発言ができませんでした。時間が経つにつれ自分の考えを話すことができるようになりました。とても良い勉強になるので、これからも生徒が参加する機会があると良いと思います。

機械科（男子）

初めて大人が集まる会議に参加し、非常に緊張しました。話しやすい雰囲気を作っていただいたので、自分の思ったこと、考えを素直に話すことができました。

機械科（男子）

地域の皆さんの思いや考えを聞くことができ、とても良い経験になりました。このような会議を続けていくことができれば、今以上に良い学校へ変化していくと思いました。

## 5 連絡事項

- ・ 第2回会議の期日について 2月中旬（後日改めて案内）